

guide

安心して看護師をめざせるように

奨学金制度のご案内

神戸医療生協は、看護師をめざして頑張っているあなたを応援しています。卒業後、神戸医療生協への入職の意思のある方ならだれでも申し込むことができます。

経済的な支援だけでなく、医療や看護、社会について学ぶ学習会、医系学生、医療現場で働くスタッフと交流する企画など、看護師をめざすみなさんを、積極的に支援しています。

月額 40,000円

●返済免除制度

貸与した奨学金の返済は、卒後、神戸医療生活協同組合に勤務した期間によって免除されます。

特別奨学金

奨学生を対象に、入学時や就学中に経済的な支援が必要と認められた場合に、50万円を上限とした貸付制度を受けることができます。(返済免除制度なし)

看護部携帯サイト



●問い合わせ方法

神戸医療生活協同組合 神戸協同病院 (看護師長室)
〒653-0041 神戸市長田区久保町 2-4-7 TEL 078-641-6211



神戸医療生活協同組合
神戸協同病院

兵庫県神戸市長田区久保町 2-4-7
Tel:078-641-6211 FAX:078-641-6309
http://www.kobekyodo-hp.jp



●交通のご案内

神戸市営地下鉄 新長田駅から南へ徒歩7分
駒ヶ林駅から東へ徒歩5分
JR山陽線 新長田駅から南へ徒歩7分
神戸市営バス 大橋2丁目から南へ徒歩2分
自家用車 阪神高速3号神戸線湊川IC西へすぐ

信じる力 寄りそう心 育ちあう絆

ナース
なりたい自分になれる場所
大事なものがきっと見つかる



神戸医療生活協同組合
神戸協同病院

「やっぱりこの仕事が好き」

くじけそうな時、自分を信じる。

「あんたがいてくれると安心するんやあ…」

いきづまった時、患者さんに寄り添う。

「だいじょうぶ。だいじょうぶ。きっと出来るよ」

落ちこんだ時、仲間と育ちあう。

ひとりじゃないからがんばれる。

看護の仕事に、私、夢中です。

医療生協って？

“いつでもだれでも安心してかかれる病院がほしい”

そんな思いが集まって、1948年に協同診療所が生まれました。みんなの思いはどんどん大きくなって診療所は病院になりました。“いのちの平等”を大切にしているから、差額ベッド代はいただきません。神戸医療生協は、おなじ願いをもつ組合員のみなさまの出資金で医療活動をおこなっています。

神戸医療生協の組合員数は、約4万5千人。出資金は約16億3,700万円です。
(2009年12月現在)



★医療生協の「患者の権利章典」

医療生協の「患者の権利章典」は組合員自身のいのちをはぐくみ、いとおしみ、そのために自らを律するものです。同時に、組合員・地域住民すべてのいのちを、みんなで大切にし、支え合う、医療における民主主義と住民参加を保障する、医療における人権宣言です。患者には闘病の主体者として、次の権利と責任があります。

- **知る権利**…病名、症状(検査の結果を含む)、予後(病気の見込み)、診療計画、処置や手術(選択の自由、その内容)、薬の名前や作用、副作用、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利。
- **自己決定権**…納得できるまで説明を受けたのち、医療従事者の提案する診療計画などを自分で決定する権利。
- **プライバシーに関する権利**…個人の秘密が守られる権利および私的なことに干渉されない権利。
- **学習権**…病気やその診療方法および保健、予防等について学習する権利。
- **受療権**…いつでも、必要かつ十分な医療サービスを、人としてふさわしいやり方で受ける権利。医療保障の改善を国と自治体に要求する権利。
- **参加と協同**…患者自らが、医療従事者とともに力をあわせて、これらの権利をまもり発展させる責任。

place

看護の現場

人として看護師として育ち合う

「いつでも誰でも安心してかかれる医療」をモットーに、患者さまと医療従事者との互いの信頼関係に基づき、急性期から慢性期まで総合的な医療・看護を提供します。



4階病棟

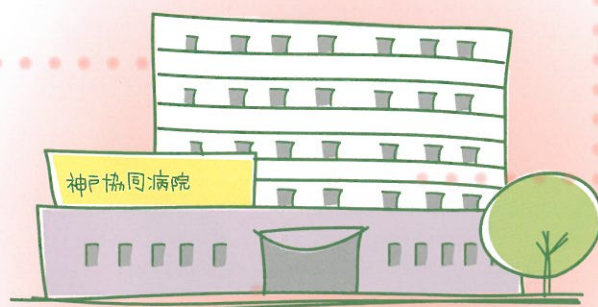
内科病棟
橋本看護師

日常看護の中では、初期看護師ならでは、あるいは中堅看護師ならではの気づきから1つの間にかカンファレンスになる事も少なくありません。

人工呼吸器を装着している夫の傍で、何もしてあげられず寂しそうにしている妻に、「私たちが心の支えになれないだろうか」そう切り出したのは3年目の看護師でした。

チーム全体で、“夫婦で時間を共有する”を目標に看護実践する中で、患者さんを中心に妻・看護師の信頼関係が深まり、患者さんの変化を共に喜びあえるようになりました。患者さんが他界された後も、自宅を訪問したりする中で、家族の気持ちを率直に聞き、自分たちの看護の振り返りもしています。

あたりまえのことだけど、患者・家族に寄り添った看護をチーム全体で実践し、みんなでやりがいを共有できる事。それが、私たちの自慢ですね。



外来

1階外来
藤堂看護師

病棟とは違い、患者さんとゆっくり時間を共有することは難しいですが、気になる患者さんの情報交換をし、お互い助け合いながら、チームで看護を提供しています。私が担当する患者さんが、外来での化学療法を受けることになった時も、「信頼関係の出来ている藤堂さんなら、患者さんも安心して治療を受けられるから」と、先輩たちが持ち場を変わってくれ、患者さんに寄り添う時間を作る事に協力してくれました。患者さんへのかかわりのタイミングは、本当に難しいですし、工夫も求められるところですが、一人でも多くの患者さんの思いに寄り添えるようチーム全体で考え、実践していきたいと思っています。

2階病棟

回復期リハビリテーション病棟
田中看護師



「安心して在宅へ帰ること」が、回復期リハビリテーション看護の大きな目標です。

そして、患者さんの自立を支援し、できなかった事が出来るようになった時、患者さんや家族の方と一緒に喜びあえる事が、私たちの宝物です。

患者さんの抱える問題は様々ですが、その人らしくを大切に、他職種が一つになって、生活環境を整えていきます。

そして、仕事を楽しくする事も大切にしています！スタッフみんなが楽しいと感じて働ける職場なら、きっと患者さんも楽しいと感じてもらえるんじゃないかなと思っているからです。だから、2階病棟は、スタッフも患者さん、家族もいつも笑顔でいっぱいです！



1995.1.17

「阪神・淡路大震災」のこと

あの日あの時、不眠不休の看護



これほど民医連医療に誇りを持てたこと、神戸医療生協で働いていることに喜びを感じたことはありません。震災により多くのものを失いましたが、多くのものを与えてくれました。（神戸協同病院副院長・石川靖二）
「おまえらもはよ遊んでくれ 阪神大震災神戸医療生協の活動記録」より抜粋



あなたたちに休んでもらうために神戸にきたのだからと自分の睡眠時間を返上して頑張りつづけた人も多かった。協同病院の活動は、このような人々の協力、支援によって支えられた。戦前の無産者診療所の活動を受け継いで、1953年に設立され発展した働く人々の医療機関、それは北海道から九州、沖縄まで全国の仲間との協力によって、見事に役割を果たした。
岩波新書「神戸発阪神淡路大震災以降・地域はもう一つの病院」道上住子氏著より

大震災が残したもの

1995年1月17日午前5時46分、マグニチュード7.2の大地震がおきました。歴史的な大災害となったその時は、神戸協同病院が地域の中の医療機関として真価を問われた時でもありました。震災当時を知らない看護師が増える中、震災が私たちに残したものを語り継いでいくことの大切さを感じています。

当時の医師や看護師が、記録集や書籍に残した記録を紐解いてみました。震災を知っている人も知らない人も医療従事者としてあるべき姿、そして神戸協同病院が地域に存在することの大切さを知ってもらえればと思います。

震災直後より駆けつけた職員の多くが、「もう家族に会えないかもしれない」と覚悟をして不眠不休の活動に飛び込んで行きました。倒壊した家屋がせりだし、火の手の上がる街を病院に向かう原動力は、仲間への連帯と命を守ることへの使命感であったと思います。

全国から多くの支援を受けて

神戸医療生協の病院・診療所では、全日本民医連、日本生協連医療部会、ボランティアなど、全国から5,000人を超える支援を受け入れました。被災地の真ただ中でありながら生き残った神戸協同病院が、地域はもう一つの病院という言葉通り、病院の中にとどまらず、地域の中で被災者の救命・救急医療、そしてさまざまな形での生活支援の活動をするなど、地域医療を自負する病院にふさわしい医療を展開することができた事を誇りに思います。

「神戸協同病院は医師18人、看護婦114人、事務、技術などのスタッフ90人。五階建ての建物はほぼ無傷で、主要機材も無事だった。交通網が寸断された中、職員半数が徒歩や自転車で病院に駆け付けた。けが人こそなかったが、20人は自宅を失っていた。」
「おまえらもはよ遊んでくれ 阪神大震災神戸医療生協の活動記録」より抜粋



全日本民医連に加盟しています

神戸医療生協の事業所は、働く人々の立場に立った無差別・平等の医療・福祉事業を行っている、全日本民主医療機関連合会（全日本民医連）に加盟しています。全国に1,700カ所以上の加盟事業所を持ち、職員数は6万2千人。友の会など会員数約320万人のサポーターがいます。

care

地域に根付く看護

いのちをまもる、元気をもらおう！

私達は「いのちの平等」と、いつでも どこでも
だれもが安心できる医療をめざしています。
「患者の立場に立ち、患者の要求から出発し、
患者とともにたたかう」
私達が看護する上で、一番大事にしている
3つの視点です。

差額ベッド代は
いたしません。

いのちの
平等。

あたりまえのことを守る

私たちは患者さんを選びません。だから、
差額ベットもとりません。お金のあるなしで
提供する医療・看護に差別をしないことを誇
りにしています。

個室は、ターミナルの患者さんが、気がね
なく家族との時間を過ごしてもらえるように、
化学療法の治療中、感染予防の観点から必要
な患者さんのために、手術後の経過観察のた
めなど、医療・看護上必要な患者さんを優先
して使用していただいています。

個室への転室のお話をすると、「お部屋代が
かかるので…」と心配される方もいますが、「安
心して治療を受けて下さい」と伝えると安堵
されます。

私たちにとってのあたりまえ、「差額ベット
代をとらない事」。これからもずっと守ってい
きたい大切なことです。

自由に発言できる職場づくり

カンファレンスでは、“安心して
地域（自宅）に帰れるように” そんな
思いを大切にしながら、一人一人
の患者さまについて、医師・看護師・
セラピスト・MSWなどが集まり、
それぞれの専門分野から包括的にと
らえ方向性を出していきます。

それぞれの職種が、同じ方向に向
かって専門職として医療・看護を展
開していく、そんな積み重ねが患者
さまのQOLを支えています。

その人らしさに
寄りそって

いのち、
向きあう。

最期まで私らしく生きたい

「私は、延命は望みません。だから、呼吸器
も胃ろうもするつもりはありません。自然の
流れに添って命を全うしたいと思います。命
ある限り頑張ります。」

これは、ALS（筋萎縮性側索硬化症）で、
自分では指1本を動かすこともできないIさ
んが、意思伝達装置で書いたお手紙の一文で
す。

病気を発症し、動けなくなってから離婚、
一人暮らしは困難だろうという判断で、神戸
協同病院に入院しました。しかし、Iさん
には、一人になっても自宅での生活を続けてい
きたいという強い思いがありました。Iさん
の思いと覚悟に寄り添い、ケアマネジャー
さんが中心になって障害者支援センターや区
の保健福祉課と連携しながら、在宅生活の調
整がされていきました。往診を担当する側で
は、Iさんができるだけ安定した状態で生活
を続けていけるように、また、ヘルパーさん
や訪問看護師さんの医療面でのサポートとい
う役割を持っていると考えています。同時に
急な病状変化時に、病院との間でIさんの思
いをきちんと病院に伝えていく役割を持っ
ていると考えています。

一人での生活をはじめられてから2年が
たった今でも、たくさんの人にささえられな
がら自宅での生活を送られています。

今日も、満足そうな笑顔で韓流ドラマを見
ているIさんから、私たちはたくさんの学び
をもらっています。

地域医療室 主任 加藤看護師

skill

わたしたちのスキルアップ

「育ち合う」看護。一步一步確実に。

患者さまの立場に立ち、親切でより良い医療看護が提供できるよう生命の尊厳と人権の尊重に努めます。

- 私たちは、患者さま一人ひとりの言葉に耳を傾けることが、何よりも大切だと思っています。他職種と協力し合って、患者さまの不安や要求を受け止める看護を提供します。
- 私たちは看護を提供する中で、患者さまから教わることもたくさんあります。こうした患者さまから学ぶ看護を通して、「患者さまとともに考え実践する看護」を目指しています。

信頼される看護師に——。自信がつく研修です

看護師になってはじめての3年間は基礎を確立するための大切な時間。研修委員会がバックアップし、その中で、一人ひとりが「やりたい看護」を見つけていきます。

なりたいナースへスキルアップ

神戸協同病院では、基礎教育後の成長を支援するために、専門職としてのキャリアアップも応援しています。

院内感染対策委員として感染管理に関わる中で、もっと専門的に学び、実践したいという思いで日本看護協会感染管理認定看護師をめざし、2005年度に認定を取得することができました。

リンクナース会議を中心に、現場の感染予防にかかわる問題を一緒に解決していけるよう日々頑張っています。

郭 感染管理師長

「呼吸療法認定士」教育プログラム

呼吸器疾患医療は、当院の特徴でもあり、看護師のスキルアップ研修として、「呼吸療法認定士」教育プログラムがあります。基礎学習と臨床における実践での学習を受けることができ、講義終了者から呼吸療法認定士の合格者が生まれています。

1 年目

初期教育3年間で看護師・社会人・組織人として自己成長の場とし、患者に寄り添うこと、患者から学ぶことを大切にしながら、看護師としての基礎づくりとしていきます。

初期I…基礎看護の学び期

研修スケジュール

4月	オリエンテーション (法人・看護)
	合同注射実技研修 看護・治療処置技術集中研修 チーム業務導入研修
5月	チーム業務導入研修 定期入院の受け入れ
6月	夜勤研修 緊急入院の受け入れ
7月～9月	業務の習熟を確認しながら、 重症部屋の患者の受け持ち
10月～1月	反復研修 事例をまとめるための準備を 開始する
2月	事例検討会

現場に入るまでに、注射実技や感染予防策などの実技研修があります。

日勤研修では、患者受け持ちも、プリセプターに指導を受けながら少しずつ増やしていきます。

夜勤デビューは習熟に合わせて、もちろんマンツーマンで指導を受けてから。

それぞれが関わった患者の事例をまとめ振り返りの中で学びます。



合同学習会 初期I

- 感染対策
- 創傷管理
- 危険な薬剤
- BLS
- 輸液療法
- 輸血療法
- 検体の取り扱い

で力を合わせて看護を提供する。それが民医連（全日本民主医療機関連合会）の看護なんだよ」と先輩が教えてくれました。

自分の意見が反映される職場、そして看護の仲間と患者さんの回復をともに喜びあう事が出来る職場でこれからがんばりたいと思います。

4階病棟 1年目 高橋看護師

奨学生として神戸協同病院と出会い入職しました。プリセプターをはじめ、たくさんの先輩たちにサポートしてもらいながら、ようやく業務にも慣れ自分の成長も感じられるようになりました。そんな中で出会った患者さんのTさんは、廃用性症候群で「寝たきり状態」となった患者さんです。嚥下機能低下のため、経口摂取困難で、胃ろうから栄養剤を注入しています。「食べたくても、食べられない」「動きたくても自由に動けない」。「そんなTさん

んにとってのQOLって何だろう」病棟カンファレンスの中で、そう投げかけたとき、スタッフ全員が動き出し、何度もカンファレンスを重ね、Tさんの「食べたい」を実現するために、毎日嚥下訓練と一緒に行いました。Tさんのがんばりもあり、ゼリーを一口食べることができた時の「ありがとう」と、とびきりの笑顔が、私たちの看護のエネルギーになっています。

「新米看護師も先輩看護師も関係なく、患者さんの思いに寄り添う事ならみんな

ステップアップ

2年目・3年目研修では、初期I研修で学んだ基礎看護を応用させながら、エルダー、現場教育担当者の指導を受けながら学んでいきます。

2.3 年目

初期II…基礎から応用看護への移行期

初期III…リーダー・指導者としてのキャリア開発・継続看護の学び期



3階病棟（外科病棟）
梶原看護師

一年目の研修中は、どちらかというと受け身な自分がいましたが、重症の患者さんを受け持つことが多くなり、研修で学んだことが即実践につながる緊張感のある研修になってきました。毎日、時間が足りないくらい大変だけど、しっかり学んでおかないと責任を持って患者さんを受け持てないと思いながら真剣に研修に取り組んでいます。

合同学習会 初期II

- ACLS
- 肝がん・肝炎
- 呼吸器管理
- 内視鏡治療
- 介護保険について
- 呼吸器看護
- 循環器看護

初期III

- 化学療法
- 社会福祉
- 肝疾患

プリセプター 初期研修を卒業して



4階病棟（内科病棟）
井上看護師

初期研修を終え、指導する立場になって、「人を育てる」という事を新たな課題として取り組んでいます。

プリセプティには、自分自身が先輩や患者さんから教わった事はすべて教えたいという思いが強いですが、自分で考え主体的に動けるように、アドバイスする努力をしています。そして、プリセプティと一緒に自分自身も楽しく仕事に取り組む事を大切にしています。

field

わたしたちの仕事場

神戸医療生協は、協同病院を中心に、
4つの診療所、4つの訪問看護ステーションがあり、
誰もが「その人らしく」暮らせるように、急性期の医療はもちろん、
予防からリハビリ、在宅まで、地域に密着した多彩なフィールドで、
患者さんの健康を支えています。

神戸協同病院

●診療科目●
内科、消化器科、循環器科、
呼吸器科、外科、整形外科、
皮膚科、泌尿器科、神経内科、
放射線科、精神科、
リハビリテーション科、
人工透析



地域に根ざした病院、それが神戸協同病院です。近所から毎日のように血圧を測りに来る人、「隣の人がな…」と相談に来る人。構える事なく入ってくる事が出来る所なんです。慢性呼吸器疾患や糖尿病、高血圧など慢性疾患の治療や療養指導など身近な病院である一方、消化器や乳がんの手術、最新の内視鏡治療などの急性期医療にも力を入れています。



安藤総師長

「何かあっても協同病院があるから安心」と言われるような信頼関係に基づいた医療・看護の提供を心がけています。

診療所

- いたやどクリニック
- 番町診療所
- ひまわり診療所
- みつわ診療所



医療生協の診療所は、地域のみならずのもっとも身近な存在です。予防から外来医療、在宅医療まで、病院、介護と地域が連携し切れ目のない医療、福祉活動を行っています。患者さまを疾患だけでなくトータルにみていく視点を持ち、住み慣れた地域で誰もが「その人らしく」生きられるようささえています。

ひまわり診療所 竹崎師長

訪問看護ステーション

- つばさ
- さわらび
- にじ
- かけはし



「住み慣れた地域、我が家で自分らしく療養生活を送りたい」。経験豊かなスタッフが、患者さんと家族の思いに寄り添い、他の職種や関連機関との連携・協力で、予防から緩和ケアまで、幅広く質の高い看護サービスを提供しています。

STかけはし 西川所長

安心して働き続けられるために

看護師を支える制度

24 時間対応の保育園

長女は1歳から、下の双子は4ヶ月からひよこ保育園を利用しています。季節に応じた遊びや制作、クッキングなど楽しいことがいっぱい、子どもたちはひよこ保育園が大好きです。24時間保育を利用して夜勤も安心して出来ています。優しく頼れる先生に子供も親も安心です。

(外来 池田看護師)

看護師を支える制度

新しくなった看護師寮

入職時より利用しています。とにかく新築なのできれいです。オートロックでアイホン付きなので安心！私のお気に入りのは浴室乾燥機。お風呂もトイレとセパレートなのでゆっくり疲れを癒してくれます。

(3階病棟 兼田看護師)

看護師を支える全国のつながり

全国的な研究・交流の場

神戸協同病院では、青年を対象とした交流があり、職種を超えて仕事の悩みも相談できる取り組みを行っています。また、2年に1回、同世代の医療従事者と交流できる企画も全国各地で開催されており、民医連（全日本民主医療機関連合会）に加盟する医療機関の若い世代が育ち合う企画として取り組まれています。



もっと力をつけて成長したい! 自分のやりたい看護を見つけない! 神戸で働きたい! そんなあなたへ。

NURSE GUIDE



神戸医療生活協同組合 看護部

神戸協同病院

いたやどクリニック
番町診療所
ひまわり診療所
みつわ診療所

訪問看護
ステーション
つばさ
にじ
さわらび
かけはし

地域がまるごと、看護師のフィールド

「いつでも健康でいたい」

「丈夫で長生きしたい」

「いざというとき安心してかかれる医療機関がほしい」

自分の健康と家族の健康を願う、そんな人たちが集まって

つくっているのが医療生協です。

もし、病気になったときに差額ベッド費用などがなく

安心してかかれる自分たちの病院・診療所を

みんなで出資してつくっています。

受診・受療の場としてはもちろん、地域にひかれ、お宅におじゃまし、

患者さまの人生、まるごと寄り添う看護をめざして、

予防からリハビリまで「暮らしのパートナー」として

みなさまの健康を支えています。

地域がまるごと、わたしたち看護師の

フィールドなのです。



学びも生活もサポート!

●全国の仲間との交流の場 ジャンボリー

全日本民医連に加盟する病院や診療所など医療・福祉の現場で働く青年職員交流の場。日頃は毎日の仕事を覚えてこなしていくことで精一杯の青年職員が、学習会やイベントを通じ、交流し、仲間づくりを広げながら、ともに学び、成長していく貴重な場となっています。

●あなたのやる気をサポート! 奨学金制度

卒業後に神戸医療生協への就職を希望している看護学生を対象に、奨学金制度を設けています。経済的な援助だけでなく、医療や看護、社会について広く学ぶ実習や、同じ奨学生や医療現場で働くスタッフらと交流する企画などへの参加を通して成長することができます。

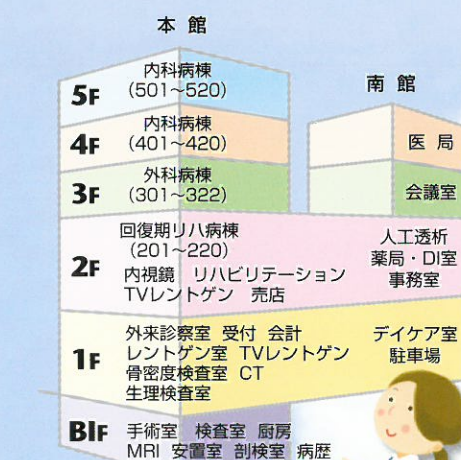
もっとひろがる、もっとつながる! 3つのキャリアステージ

神戸医療生活協同組合看護部には、地域に密着した多彩な活躍のステージがあります。



神戸協同病院

「いつでも誰でも安心してかかれる医療」をモットーに、患者さまと医療従事者との互いの信頼関係に基づき、急性期から慢性期まで総合的な医療・看護を提供します。



診療科目

内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、神経内科、放射線科、精神科、リハビリテーション科、人工透析



訪問看護ステーション

つばさ・にじ・さわらび・かけはし

住み慣れた我が家や地域で、「生きていてよかった」と感じることができるよう、そしてご本人やご家族がより快適で安心して暮らせるよう、看護のプロとしての立場から、生活スタイルにあった療養生活のお手伝いをしています。

診療所

いたやどクリニック・番町診療所
ひまわり診療所・みつわ診療所

一人ひとりの体質や生活環境を含め、積極的に人々と関わっていく「地域医療」。外来診療や往診を通じて、病気の予防から毎日の健康管理までアドバイスをしています。



●寮も完備!

ワンルームタイプのマンションで神戸協同病院から歩いて2分足らず。近隣にはコンビニもあり、夜勤の時も安心です。

●安心して働ける24時間対応保育園（病時対応可）

神戸協同病院の院内保育園は、33年前に看護師さんをはじめとする職員が働きつけられるようにと手作りの保育所から始まりました。産休・育休明けの日中保育や外来夜間診療時の臨時保育、外来当直・病棟夜勤時のお泊まり保育等への対応も柔軟に行っています。リニューアルした保育施設は自然に近い材料を使用し、木のぬくもりを肌で感じ取れる「子供にやさしい」保育園となっています。





仲間といっしょに学べる研修制度があります。

NURSE GUIDE

StepUp!



神戸協同病院 看護理念

患者さまの立場に立ち、親切でより良い医療看護が提供できるよう生命の尊厳と人権の尊重に努めます。

- 私たちは、患者さま一人ひとりの言葉に耳を傾けることが、何よりも大切だと思っています。医師や薬剤師などと協力し合って、患者さまの医療に対する不安や要求を受け止め、看護のプロとしてみなさまの心身をバックアップしていきます。
- 療養生活をより良いものにするために、私たちがもっとも力を入れるべきことは何でしょう？ それはズバリ、患者さまとのコミュニケーションの時間です！「患者さまとともに考え実践する看護」を目指して、業務に取り組んでいきます。
- 私たちは看護技術を提供する一方で、会話の仕方や相手への思いやりなど、患者さまから教わることもたくさんあります。こうした患者さまから学ぶ看護を通して、今後の自己成長へとつなげる努力をすることを目指します。



不安が信頼、自信に変わる 教育研修

看護師になってはじめての3年間は基礎を確立するための大切な時間。研修委員会がバックアップし、その中で、一人ひとりが「やりたい看護」を見つけていきます。



初期研修 I

基礎看護の学び期 臨床看護の基礎習得期・社会人としての学び期間

指導と助言を受けながら、患者に安心・安全な看護技術と知識が提供できる／指導と助言を受けながら、患者に学ぶ看護過程の展開の知識と実践ができる／メンバーNsとして認識した行動ができる

OJT

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
この3ヶ月間はマンツーマン指導での研修										
職場オリエンテーション 研修オリエンテーション デモンストレーション 合同注射実技研修 看護・治療処置技術集中研修 チーム導入研修	チーム業務 導入研修	夜勤研修・マン ツーマン指導 検査業務研修 内視鏡研修		後半から緊 急入院・急 変患者の研 修を意識的 に実施	患者からの学びをまとめて 事例検討会で発表 1人1事例					事例 検討会

合同学習会

- 創傷管理 ●危険な薬剤 ●急変時の観察と対応(実践も)BLS ●輸液について ●輸血について・検体の取り扱い
- 急性期看護・呼吸不全 ●輸液ポンプ管理・講義と実技 ●腎臓疾患・HD

集合研修

- 3ヶ月ごとに実施

初期研修 II

基礎から応用看護への移行期 急変・重症看護を学ぶ・初期リーダー研修

助言を受けながら、患者に安心・安全な看護技術と知識を提供でき、患者個々の状況にも対応できる／指導と助言を受けながら、LRCU、ICU、リハビリ室の患者に安全・安心な看護技術と知識が提供できる／助言を受けながら、患者から学ぶ看護過程の展開実践ができ個々の状況に基づいた看護ができる／指導と助言を受けながら、初期リーダーとして認識した行動ができる

OJT

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
現行各職場での研修期間			ローテート			重症部屋研修			初期リーダー研修		

合同学習会

- NIPPV ●呼吸器看護 ●内視鏡治療 ●呼吸器(中級) ●希望の疾患 ●緩和ケア・除痛

集合研修

- 民医連看護の3視点 ●患者の権利章典 ●事例検討会

初期研修 III

初期教育研修の集大成期 リーダーNs、後輩指導Ns体験・継続看護を学ぶ

患者に安心・安全な看護技術と正確な知識を提供し、患者個々の状況に合った対応ができる／助言を受けながら、急変、重症(ICU、LRCU、リハビリ室)患者に安心・安全な看護技術と知識が提供でき、患者個々の状況にも対応できる／患者、家族参画の看護過程の展開ができ、患者から学ぶ看護の実践が意識的に行える／看護実践において、リーダーシップが発揮できる／後輩に職場の基礎看護の手本を示すことができ、継続支援ができる(プリセプターNsとして)／自己のキャリア開発の方向をもつことができる

OJT

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スタッフリーダーとして看護活動実践期 看護過程の展開・前期開始 プリセプターNsとしての実践前半期				スタッフリーダーとしての自立実践期 継続看護の実践 プリセプターNs後期→ 後期看護展開・症例の取り組み指導				初期研修3年間のまとめ・症例発表会			

合同学習会

- 肝疾患について ●緩和ケア・除痛 ●画像診断の見方 ●希望の疾患

集合研修

- 介護保険制度について ●症例発表会



一步一步成長していきたい… 先輩からのメッセージ。

NURSE GUIDE

StepUp!



今の私だからできる
仕事のやり方を大切に
森奈津子さん 外科・整形外科棟

ナース
6年目

profile ●「人の役に立つ仕事をしたい」という夢を叶えて看護師へ。大学時代に訪問看護実習を経験。今後は病棟とは違う観点での看護にも挑戦するつもりだ。仕事あがりのための「一杯」が、森さん流のストレス発散法とか。



地域の交流の場として、
風通しの良い職場を作りたい
韓ルミ子さん 外来

ナース
20年目

profile ●自動車関係の仕事を辞め、24歳のときに一念発起し看護学校へ入学。卒業後、神戸協同病院に入職。結婚・出産などで一時休職を経て6年前に復帰し、現在は外来の主任。昨年、呼吸療法認定士資格を取得した。

患者さまの立場を理解した さまざまなアイデアを提案

周囲から一番力を発揮する立場であると期待されるのが、中堅のナース。私もその一人として、直腸がんや人工肛門を作る患者さまのために絵と写真で手技を解説したパンフレットの作成などを会議で提案しました。実際に「口頭の説明よりもわかりやすい」と喜んでいただき、嬉しかったですね。患者さまが本当に望んでおられることを知るには、毎日のコミュニケーションが不可欠。短くても会話の時間を必ずとるように心がけています。

悩みや苦労をパワーに変えて、 夢に向かって走り続けたい

現在は通常の業務に加えて、新人3名を指導するプリセプターを担当しています。それぞれの個性や持ち味を観察して注意の仕方を変えるなど苦労も多いのですが、これもいい経験だと思ってマイペースに頑張っています。また結婚したので、仕事と家庭の両立をはかりながら、訪問看護など地域に根ざした看護にも挑戦し、新たな道を拓いていきたいと思っています。

多忙な業務のなかでも忘れない 患者さまとスタッフへの気配り

外来での仕事は、患者さまの診療補助から問診、救急車の対応や苦情処理まで多岐に渡ります。また病院の窓口として、患者さまへの声かけなどにも気を配るように注意しています。主任になってから3年。会議の進行や書類作成、勤務表のやりくりなど、管理者としての仕事もあり、毎日がバタバタです(笑)。でもやはり医療はチームワークが大事。師長に相談しながら、スタッフ同士が気持ちよく働ける環境づくりに取り組んでいます。

診療所勤務や訪問看護の経験は 新たな看護観を養う貴重な財産に

これまで病棟以外に、医療生協の診療所と訪問看護ステーションにも勤務しました。いずれも、患者さまとの密な関係を築くことができ、また看護の意味を根本から考え、医療の現場に立つことの重要性を学んだ貴重な期間でもありました。この経験が、今の私を支えているような気がします。若いナースたちにも、たくさんの現場を経験し、新たな看護観を養ってほしいと思っています。

神戸協同病院「呼吸療法認定士」教育プログラム

神戸協同病院では看護研修に力を入れています。その研修の一環に、「呼吸療法認定士」教育プログラムがあります(当院は呼吸器疾患患者さまを多く受け入れ、特徴ある医療として呼吸器疾患医療に力を注いでいます)。

このプログラムには、全国で講師活動をおこなっている当院の認定呼吸療法士山本昌司診療業務マネージャーが携わり、基礎学習と臨床における実践での学習を行っています。

現在当院には、3学会合同呼吸療法認定士は10名います。これまで11年間で、1年～1.5年をサイクルに、1回あたり20名前後の教育を行い、延べ100名以上が講義を修了しました(これまで認定士には20名以上が合格)。最近では、04年10名受験し8名が合格。06年は5名が受験し3名が合格しています。07年は4名が合格しています。

基礎Ⅰ

- ① 呼吸の意義～内環境の調整～
- ② 肺の形態・構造
- ③ ガス交換
(O₂、CO₂の運搬／換気血流比／死腔と肺泡換気)
- ④ 換気力学(コンプライアンス／気道抵抗)
- ⑤ 酸塩基平衡
- ⑥ 呼吸器の(感染)防御機構
- ⑦ 循環生理の基礎

基礎Ⅱ

- ① 低酸素血症の成因と症状
- ② 高炭酸ガス血症の成因と症状
- ③ 体位の知識
- ④ 器具・検査法

臨床Ⅰ

- ① 呼吸器内科疾患
COPD・肺がん・肺結核・肺炎・ARDS・他
- ② 慢性・急性の呼吸不全
- ③ 術後肺合併症

臨床Ⅱ

- ① 人工呼吸療法
- ② 酸素療法
- ③ 肺理学療法
- ④ 吸入療法
- ⑤ NPPV

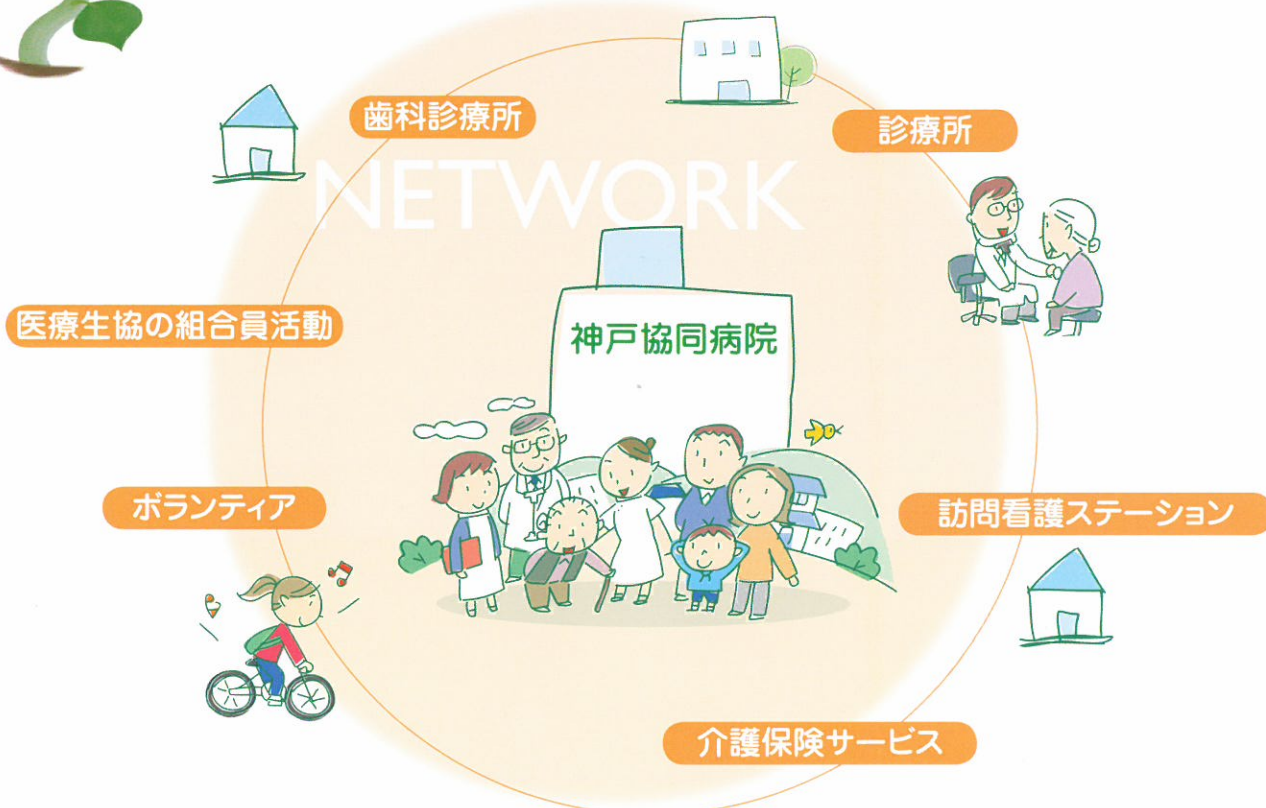
その他

- ・胸部XPの見方
- ・血液ガスの読み方
- ・救急蘇生法





病院と地域をむすぶ医療、福祉のネットワーク



神戸協同病院

神戸市長田区久保町2-4-7
TEL 641-6211 FAX 641-6217

いたやどクリニック

神戸市長田区庄山町1-9-12
TEL 611-3681 FAX 611-0964

番町診療所

神戸市長田区三番町2-6-3
TEL 577-1281 FAX 575-5328

ひまわり診療所

明石市二見町東二見字大郷183-1
TEL 941-5725 FAX 941-8061

みつわ診療所

神戸市長田区腕塚町2-2-5
TEL・FAX 641-6241

協同歯科

明石市大蔵谷狩口192-3
TEL 913-1155 FAX 911-7601

きたすま歯科

神戸市須磨区妙法寺字荒打314-1
TEL 741-7224 FAX 741-6990

いたやど歯科

神戸市長田区山下町4-7-12
TEL 612-3160 FAX 612-3162

生協なでしこ歯科

神戸市西区前開南町1-2-25
TEL 978-6480 FAX 978-6056

訪問看護ステーション つばさ

神戸市長田区大橋町5-2-1
シティパレス新長田901
TEL 646-2371 FAX 646-2374

訪問看護ステーション にじ

神戸市西区平野町向井53 中山ビル2F
TEL 963-2929 FAX 963-2966

訪問看護ステーション さわらび

神戸市垂水区名谷町字湯屋2239-21
TEL 797-7085 FAX 797-7086

訪問看護ステーション かけはし

明石市魚住町長坂寺441-12 安達ハイツ1F
TEL 948-3375 FAX 948-3376

デイサービスセンター ほのぼのの郷

明石市二見町東二見字大郷183-1
TEL 949-2345 FAX 949-2828

神戸医療生活協同組合 看護部

兵庫県神戸市長田区腕塚町 2-2-10

TEL 078-641-1651 FAX 078-641-1654

ホームページ <http://www.kobekyodo-hp.jp/>

●お問い合わせ・相談窓口／神戸協同病院

TEL 078-641-6211 (代表) 院長室